

【参考】 令和4年度盛岡市教育研究所公開講座内容の概要

	講座名	講座内容の概要	携行品
4日(木)午前	<b>① ICT活用講座</b> <b>(マイクロソフト Teams、Forms等の活用)</b> ◇講師：(株) リードコナン ◇会場：盛岡市立見前中学校	Teamsはコミュニケーションツールです。先生間での資料のやり取りはもちろん、クラスを限定せず生徒と交流することもできます。チームの作成、メッセージや資料のやり取りについてご紹介します。 Formsはアンケートやテスト、投票を作成する機能です。紙のアンケートのように回収後に集計する必要はなく、回答するとリアルタイムに自動集計されますので、時間短縮や担当者の負担を軽減できます。毎日の体温の報告、学校公開のアンケート、学校評価など様々な使い方ができる Formsの基本操作をご紹介します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆記用具</li> <li>・上履き</li> <li>・参加者各自のMicrosoftアカウント/パスワード (GIGA端末ログイン時のアカウント/パスワードです)</li> </ul>
	<b>② 「LGBTQ+」基礎講座</b> ◇講師：盛岡市教育研究所 教育相談員 早坂 将 いわて思春期研究会 副会長 佐藤 卓 いわてレインボーマーチの方々 ◇会場：都南公民館 (第1研修室)	最近クローズアップされてきた「LGBTQ+」について、基本的知識、学校における対応などについて研修を行います。子どもたちの悩みを和らげることから、人権を守る視点で「LGBTQ+」をどう考えるかに触れていくことを目指します。 前半は、佐藤卓先生による基本知識の講義、後半は「いわてレインボーマーチ」から数名お招きし、実際の経験や現在の思いを基に、グループでの話し合いを予定しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆記用具</li> </ul>
	<b>③ 盛岡の先人講座</b> ◇講師：盛岡市先人記念館 館長 久保 智克 ◇会場：盛岡市先人記念館	新渡戸稲造を題材に、小中学校の先人教育の授業づくりや単元づくり(総合的な学習の時間)について、講義・演習を行います。 講座の後は、自由見学により教材研究を深めていただきます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆記用具</li> <li>・各校の先人教育の指導計画</li> <li>・先人副読本</li> </ul>
	<b>④ 小学校授業づくり講座(国語)</b> ◇講師：盛岡市教育委員会学校教育課 主任指導主事 工藤 咲香 ◇会場：都南公民館 (小ホール)	国語科3領域(「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」)の授業づくりの基礎・基本についての講義をもとに、「教材を使って、言語活動をとおして、資質・能力を育成する」授業について、2学期に実践する授業づくりや単元構想について演習を行います。具体的に学んでいただく『初級編』の講座です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆記用具</li> <li>・小学校学習指導要領解説(国語編)</li> <li>・担当学年(担当学年がない場合は任意学年)の教科書</li> </ul>
4日(木)午後	<b>⑤ 原敬講座</b> ◇講師：原敬記念館 館長 荒川 享司 ◇会場：原敬記念館	第19代内閣総理大臣原敬は、平民宰相として、我が国で初めての本格的な政党内閣を組織した本県が誇る先人です。 講座前半は、原の生い立ちから新聞記者、官僚への道を歩んだ若き時代、後半は政党政治を実現するまでの戦略と総理大臣として志半ばで暗殺されたことの我が国への影響などについて、パワーポイントの画像を交えて解説します。 また、当館の常設展示室や生家の見学に加え、第63回企画展「原敬と大慈寺」について、当館の主任学芸員がギャラリートーク形式で実施します。この機会に、原敬の世界にひたっていただきたいと思えます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆記用具</li> <li>・水分補給用の飲み物</li> </ul>
	<b>⑥ 自殺予防教育講座</b> <b>(子どもの自殺・自傷と心のSOS</b> <b>～わたしたちにできること～)</b> ◇講師：未来の風せいわ病院 医師 鈴木 りほ ◇会場：都南公民館 (小ホール) ※本講座の終了は、16:00の予定です。	子どもたちの「死にたい」という言葉や、リストカット等の自傷行為に、どう対処するのか、具体的なフレーズの例やモデルケース検討を交えて解説します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆記用具</li> </ul>
	<b>⑦ 小・中体育実技講座</b> ◇講師：特定非営利活動法人日本SAQ協会 SAQインストラクター 渡邊 研 ◇会場：西部公民館 (プレーホール)	盛岡市次世代体力・運動能力向上プロジェクト事業における走力向上プログラムに関する理論と実践講習会を実施します。 これまでの公開講座が好評だったため、前回に引続き、全国各地でトレーニング指導を行っている渡邊氏から、発育発達に合わせた体力づくりを学びます。 小・中学校共通の課題である走力アップについて、渡邊氏に協力していただき、「体育の授業等で取り組むウォーミングアップメニューDVD」を作成し、各学校に配布しております。その内容について、ポイントをわかりやすく解説し、確かな動きをお伝えします。 見学のみでも参加可能です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動きやすい服装</li> <li>・体育館シューズ</li> <li>・タオル</li> <li>・飲み物</li> <li>・筆記用具</li> </ul>

	講座名	講座内容の概要	携行品
5日(金)午前	<b>⑧ ICT活用講座 (ロイロノート授業実践紹介)</b> ◇講師：盛岡市立緑が丘小学校 教諭 和美 智教 ◇会場：盛岡市立見前中学校	子供の資質・能力の育成につながる「ロイロノート・スクール」の活用の演習を行います。 1 授業場面でのロイロノートの活用事例の紹介 2 実際にロイロノートを使っての演習 (講師が教師役、参加者が子供の役になり、実際の授業場面を想定しての体験を行います。)	・筆記用具 ・上履き ・参加者各自のMicrosoftアカウント/パスワード (GIGA 端末ログイン時のアカウント/パスワードです)
	<b>⑨ コミュニティ・スクール講座 【市立小・中学校悉皆研修】</b> ◇講師：岩手県教育委員会生涯学習文化財課 主任指導主事 阿部 勲寿 ◇会場：都南公民館 (小ホール)	県教育委員会の地域学校連携担当指導主事より、「国や県が目指す地域学校連携・協働について」「学校支援組織から学校運営協議会への拡充及び組織化の手順や方策」についての講義を行います。 また、市教育委員会担当指導主事より、盛岡市のコミュニティ・スクールについての説明を行います。	・筆記用具
	<b>⑩ 盛岡の歴史文化講座</b> ◇講師：もりおか歴史文化館 学芸員 熊谷 博史 ◇会場：もりおか歴史文化館	盛岡の歴史や文化についての解説を基礎に、先人教育など学校教育の中で、もりおか歴史文化館を活用していただくためのポイントもあわせて解説いたします。	・筆記用具
	<b>⑪ 小学校授業づくり講座(社会)</b> ◇講師：盛岡市教育委員会学校教育課 主任指導主事 泉田 学 ◇会場：都南公民館 (第1研修室)	「小学校社会科における授業づくりの基礎」について、次の内容を取り扱います。 <b>【講義・演習・意見交流】</b> ① 「単元及び単位時間における授業づくりのポイント」について ② 「資料提示・発問等の工夫」について ※社会科の授業づくりについて、お困りの点をお持ちの先生方にお勧めの講座です。 ※演習や参加者相互の意見交流を通して、「児童一人一人に資質・能力を育成することを目指した授業づくり」の充実につなげられるような講座にしたいと考えています。	・筆記用具 ・小学校学習指導要領 (平成29年告示) 解説 社会科編
5日(金)午後	<b>⑫ 生徒指導講座(不登校)</b> ◇講師：盛岡市教育委員会学校教育課 主任指導主事 山下 るり子 ◇会場：都南公民館 (第1研修室)	① 不登校の初期対応について 「初期対応マニュアル」を基に、児童生徒の状況に応じた適切な働きかけについて説明します。 2学期からすぐ実践できる具体的な方策を紹介します。 ② 特性に応じた支援について パターン別の対応例を説明します。各学校の事例も取り上げながら、参加された先生方と一緒に対応策を考えていきます。2学期からの支援の仕切り直しに役立つ情報を提供します。 ③ 関係機関との連携について 効果的な連携の仕方や留意点を確認します。各学校でお困りのこと等あれば、その場で相談に応じます。 ～「困難や不適應状況が起こっている子供を一人でも多く、一日でも早く救いたい」それが本講座の願いです。～	・筆記用具 ・「不登校未然防止『初期対応マニュアル』(2021年9月 盛岡市教育委員会) ・自校の長期欠席児童生徒「個票」(R4年度6月分もしくは7月分まで入力されたもの) ・自校のケース会議関係資料又は初期対応関係資料(ある場合のみ)
	<b>⑬ 特別支援教育講座</b> ◇講師：盛岡市教育委員会学校教育課 主任指導主事 伊藤 誠規 指導主事 佐藤 聡幸 ◇会場：都南公民館 (小ホール)	ユニバーサルデザインを基にした環境づくり、授業づくりについて、特に自立活動での実践例を紹介しながら理解を深めます。 また、特別支援教育におけるICTの効果的な活用について、参会者の皆様と一緒に考えます。	・筆記用具 ・特別支援学校教育指導要領・学習指導要領解説〔自立活動編〕 (平成30年3月文科省)
	<b>⑭ 小学校授業づくり講座(算数)</b> ◇講師：盛岡市教育委員会学校教育課 主任指導主事 小森 篤 ◇会場：都南公民館 (視聴覚室)	2学期や3学期に学習する内容について、「算数・数学の問題発見・解決の過程」を意識した授業展開を考える講義と演習を行います。	・筆記用具 ・担当学年の算数の教科書(上・下)又は指導書 ・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料

※「伝統文化教員体験教室2022」についての概要は、別添のチラシを御参照ください。